

わたしの 妊娠報告書

記載日 31年 / 月 / 日

おめでた宣言日	30年 9月
年齢 (37) 歳	平成 (22) 年 (12) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(/) 年 (10) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (FT (卵管鏡下卵管形成術))
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精 (?) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 (/) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

あり 思いつめたい事では(よ)か、それが一番難しいのでは(よ)か...
 夫婦で、たくさん話をし、お互いの今かかっている思いを
 話し出すのが、良いのでは(よ)かと思いは(よ)。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

一人目を人工授精で授かり、二人目もお世話になりました。
二人目人工授精から始めて、卵管造影検査で「片方の卵管が
つまっている事がわかり、FT(卵管鏡下卵管形成術)を受けました。
それでも人工授精ではできなくて、顕微授精をして、授かる
事ができました。

その他(通院・治療費・家族など)

一番しんどかったのは治療費だと思います。やはり生活を圧迫します。
これで最後にしようと挑戦して顕微授精で授かる事ができました。
あとは、上の子がいると連れては行けない治療があり、顕微授精
では、その日が近づいてから、実施日が決まるので、主人に休んでもらうのが
難しいです。

治療中の方へのアドバイス

二人目の治療だとある程度心に余裕ももてますが、一人目だと、どうしても
思いつめてしまいます。生理が来る度にトイレで涙したり……。でも、
ストレスは大敵だと思います。(←主人の数置には顕著にあらわれました。FTEはとも
知れませんが…) なので、夫婦お互いの思いを口に出して、少しでもストレス
軽減して下さいね。

スタッフへのご意見など

いつもありがとうございます。連れて行った娘の事も気にして下さり、
おもしろさを僕に伝えていたり、とご助かりました。